

磐城時報

本報は石城郡平町編成第十四
号の法人として、昭和二年
四月一日創刊。編集長は
田中 誠、社長は田中 誠
である。印刷所は平町印刷
所、電話は平町印刷所五
五五。代金は一ヶ月五
十銭、三ヶ月一円、半年
一円五角、一年二円。外
国に送るには送料を加へ
る。本報の発行所は平町
印刷所、電話五五五。代
金一ヶ月五十銭、三ヶ月
一円、半年一円五角、一
年二円。外に送料を加へ
る。本報の発行所は平町
印刷所、電話五五五。代
金一ヶ月五十銭、三ヶ月
一円、半年一円五角、一
年二円。外に送料を加へ
る。

白井翁の遺骨を迎へ 雑踏を豫想さる、平驛頭

遺骨は直ちに紺屋町に安置

功成り名遂げ八十二歳の高齡を之れより先き安島元代議士、金
以て此程瀧澤長逝したる從五位成植電社長、鈴木、古川兩縣議
勳四等白井遠平翁の遺骸は既報井上、小野兩前縣議等は途中迄
の如く昨十二日東京に於て茶屋出迎へて東京よりの中野浩忠氏
に附し悲しき遺骨は嗣子博之氏等に加はり、また驛前出迎へ者
以下令孫一郎氏、女婿菅波角之申には山崎與三郎、諸橋久太郎
勳氏其他一家一門の人々に護ら兩氏、高岡元代議士、縣議山崎
れ今十三日午前十一時上野驛を吉平氏其他地方あらゆる有志を
發し常磐線により午後四時五十網羅して今は亡き偉人の遺骨を
一分故山平驛に到着驛前に雲集迎ふる驛頭の嚴肅なる光景を
する多數御黨後進の出迎へるに想像するに難からぬものか
け紺屋町の邸に入る筈である。

白井家葬儀の 役員決定す

白井遠平翁の遺骨は十三日午
後五時五分平驛着車にて平町到
着直ちに紺屋町白井家邸に安
置され十五日午前十時から午後
一時までの間平町町警署銀行
所有地に於て盛壯なる葬儀が行
はれる筈であるが、當日の役員
は左の如く決定した。

▲葬儀委員長 (正) 安島重三郎
(副) 中野浩忠
▲顧問 山崎與三郎、高岡唯一
郎、諸橋久太郎、本多文雄、
木村清治、金成通
▲幹事 新田自善次郎、山崎吉
平

▲式場係 加納五郎外七名
▲受付係 佐々木龍若外十六名
▲應接係 郡外鈴木堅助外九名
▲案内係 郡内高島三郎外十二名
▲法要係 青木榮太郎外二名
▲支出係 新妻信八外三名
▲用詞係 千葉彦治外二名
▲交通通信係 山田盤磨外二名

▲教員俸給負擔
児童一人當十七圓
平町の前年度小學校歳出概算は
教員俸給の四萬五千圓を筆頭
として、合計六萬三千圓に達し大正十
四年度の六萬二千八百圓に比し一

晩秋蠶終局 商狀大佳良好

平町地方の晩秋蠶も愈々終局日
度喜交々の情報と在留職員及
出廻り皆無となる模様で昨今
以下級生に於ては、

平町水道祝賀式 愈々十六日に迫る

平町の水道完成祝賀式は既報
の如く愈々十六日に迫つたが、
川口協介氏、縣下各代議士並に
雨落成式は第一期工事七十餘萬
圓の竣工當時舉行の筈であつた
祝賀會が偶々大正十年春地方に
大洪水があり死者數十名を出し
た椿事があつたため之を見合は
してゐたのと、更に舊城跡の配
水設備から沈澱池、濾過池の増
設等工費十萬圓を要したので第二
期工事も全部終了したので文字
通りの平水道完成祝賀式といふ
意味で相當盛んな催はしを行ふ
事になつてゐる、屢々報導した
事だが、當日は來賓として伊藤
知事を始め縣地方土木關係者

八十歳以上の高齢者 平町で四十三名

平町で調査中であつた水道竣工
祝賀式當日特典を興へられる高
宿泊地たる宮城縣吉岡町を出發
祝賀式當日特典を興へられる高
宿泊地たる宮城縣吉岡町を出發
祝賀式當日特典を興へられる高
宿泊地たる宮城縣吉岡町を出發

商業生徒見學

平商
業學校を明春卒業する三年生四
十五名は中村、淺原兩教諭に引
率され去る八日出發、十五日夜
歸校の豫定で修學旅行の途につ
き關西方面の視察中で、旅程は
名古屋、二見ヶ浦、大阪、京都
嵐山、琵琶湖、比叡山等である
が一同大元氣ながら毎日降つ
たり照つたりと天候なので其都
度喜交々の情報と在留職員及
出廻り皆無となる模様で昨今
以下級生に於ては、

共進會出品馬

月四日から三日間郡山市、開か
る縣役場共進會に出品する石
城郡の馬左の如し。

▲ハクニ一雜種吾妻號馬三匹
▲アンゴロールマン雜種國美號
▲トウチン大谷忠松

拾得物調べ

平警察署に於ける本年上半期の
拾得物取扱件数は物件二百四十
六件以外現金八百五十二圓四十
六圓、合計見積り總額は三千六
百四十四圓四十七錢になつてゐるが
此内遺失者の不明のものは現金
過般日立に遠征して同軍を破
つて煙草入、萬年筆、帽子其他雜
品を包んだ風呂敷包等であるが
最も奇抜なものの中には婦人用の
野球服を執行する。

炭酸ガスを 柿の澁をぬく法

神谷農事試験場で試験
經費も安い... 稻田技師談

野球試合

日立對平
探検第一回報告によればさん
群は釧路南東より漸次南下し二
陸沿岸附近まで廻遊してをるが
更に、數日中には金華山沖合
にまで來遊する見込である。

警中庭球大會

平町
縣立磐城中等學校では近日中全
生徒より希望者をつのりアマチ
アテニス大會を開催する。

本縣入り

愈々本十三日
青森、下ノ關本州横斷、單騎
乗踏破の途にある入遠野村柳田

炭酸ガスを 柿の澁をぬく法

神谷農事試験場で試験
經費も安い... 稻田技師談

都腰巻等もありて苦笑に値する
ものもあるが物品、現金等何れ
にしても好景氣時代の如き纏つ
たものや高價なるものは殆んど
ない有様で、斯うした方面から
も不景氣の時代相はよく窺はれ
ると。

▲さんま群近づくと
水産試験場磐城丸のさんま漁
探検第一回報告によればさん
群は釧路南東より漸次南下し二
陸沿岸附近まで廻遊してをるが
更に、數日中には金華山沖合
にまで來遊する見込である。

▲さんま群近づくと
水産試験場磐城丸のさんま漁
探検第一回報告によればさん
群は釧路南東より漸次南下し二
陸沿岸附近まで廻遊してをるが
更に、數日中には金華山沖合
にまで來遊する見込である。

職業紹介所に來るものは 怠り者や悪人のみで 求人者に紹介所の理解を望む 平町を視察した内務省技師談

石城郡地方の職業紹介状況視察は壺網漁をも開始した。のため十一月來平しに内務省社會局職業紹介事務課福原事務官は平町職業紹介所を視察して語

「福島、郡山の兩市を視察して三日間平町元石城郡役所で開て平町に來たのであるが不景氣く答で十三日は稲田技師、小嶋風は何處も同じで求人者は極めて技手等で審査を行ひ、十四日は少ない、平町は人口二萬五千余即買、十五日には賞状を授與す数字の上から見ても今少し活動の余地があると思ふ、紹介所について求職者よりも求人側に望み度い事は今少し紹介所の性質を理解して利用して貰ひ度い事である、紹介所に來るものは必ずしも怠り者や悪人ばかりではない、この理解さへあれば求職者も従つてよりよいものが集つて來る事になるのです。」

梨品評會 郡農會主催

谷村農事試験場では過般梨品評會に於て普通品が一箱二圓内外であつたのに四圓の高値を示した優良品種(二十世紀)三百本を作り希望者に一本七錢で分譲する。

二十世紀苗分讓

谷村農事試験場では過般梨品評會に於て普通品が一箱二圓内外であつたのに四圓の高値を示した優良品種(二十世紀)三百本を作り希望者に一本七錢で分譲する。

印刷物は 加納活版所

谷村農事試験場では除虫菊の種子二斗余を採取し栽培宣傳のため希望者に一斗宛無償で配布し更に希望者には一合三十錢宛で分譲中であるが、遠く茨城縣方面からの希望者あり余す處一斗余になつたが希望者は同場宛申し込む可し。

除虫菊種子配布

谷村農事試験場では除虫菊の種子二斗余を採取し栽培宣傳のため希望者に一斗宛無償で配布し更に希望者には一合三十錢宛で分譲中であるが、遠く茨城縣方面からの希望者あり余す處一斗余になつたが希望者は同場宛申し込む可し。

豊間の大敷網

郡豊間村の大敷網は暴風雨期も過ぎたので本年初の試みとして敷日前から張網をなし秋漁外本秋の新柄モスリン着尺等新に著手したが夏頃ゆやうな大館に陳列し特價品の外破格品と漁があるか何うかは疑問である豊富、取揃てあるから定めが敷網の經營者阿部彦次郎氏人氣を博するであらう。

三井吳服店の 冬衣賣出し

平町三丁目三井吳服店では十五日から二十五日まで冬衣大賣出しを行ふ筈で、御祝儀物一式の

秋冬帽子
子供帽子
鳥打帽子
中折帽子

御好品を澤
取揃へました
ツルヤ
平四

治淋
新藥
ラウタール

其効顯著なるに實驗者は驚く
眞に淋病、消渴の特効新藥なり
悩み苦しむものは直ち一試みよ必ず救はれん
定價三圓也 重症用拾圓

代理 山野邊藥局
平町五丁目角

最も優秀なる効力を
有する新藥
腦を健やかにし精力を増し
血色を美しくする新藥
神活

代理 大平屋藥舖
平一丁目電話六四二

大和田醫院
耳鼻咽喉科

平町南町
電話一七〇番

十月十五日ヨリ廿五日迄
三井吳服店の
冬衣大賣出し

新館陳列營業大擴張—商品豊富
御祝儀物一式 江戸襦袢京染金二拾圓ヨリ
本秋の新柄モスリン着尺階上陳列仕候
間是非御來觀の程希上候

おつこめ 特價品

ニニコ太島 壹圓 別珍足袋 二十五錢
三井別染正絹縮 壹圓五拾錢 (一萬足限り)
布 團 七拾五錢 白キヤラコ (二十錢)
本かへき羽織裏 壹圓六拾錢 (五千足限り)
着尺モスリン 參圓八拾錢 黒朱子 (三千五百足限り)
外に破格品山の如し

平町三丁目
電話三八番

三井吳服店

連日滿員御禮興行

松竹獨特喜劇—花見大脱線
絶笑落花生の踊り 全五卷
珍優... 新井淳、渡邊篤主演

松竹映畫—阪東妻三郎一世一代の熱演
劍史邪痕魔道 最終篇
宿命を呪ひ、宿命に反逆し、悲惨な現實に直面する榮之進は魔道に入り、愛刀長船を血潮に染め荒れ狂ふ運命は如何に裁断するや?

日活映畫—讀賣新聞懸賞當選大映畫—大久保謙治主演
開演史 大陸の彼方へ 全八卷
滿洲よ、蒙古よ、我日本の二倍の面積を持つ産物に恵まれた樂土である、大曠原に犠牲の心血は流れ、我帝國軍專探偵の悲壯なる物語り...

原作大佛次郎大衆時代映画河部五郎、大河内傳次郎共演
愈最終 照る日曇る日 全完
箱根山中の劍陣、幕末騒亂大血闘、打撃く伏見鳥羽の戦ひ、加納八郎は如何なる運命を持つか全ての問題は解決

十月十三日 土、日曜 平館

電話六一五番

平南町(平館通り)
岡山寫眞館

最新滋強
回春劑
ビビナス 定價(三圓五圓 拾圓 廿圓)

◎適應症 腦神經衰弱、ヒステリー、生殖不能 陰萎遺精、體力増進、新陳代謝等

平町專賣所 平町 山野邊藥局
五丁目角

從五位勳四等白井遠平
永々病氣の處本月九日
午後四時死去致候に付
此段謹告仕候

追而葬儀は平町字南町新道に
齋場を設け十五日午前十時よ
り午後一時迄相營み可申候

本廣告を以て御通知に代へ申候
昭和二年十月十日

同人友
親戚總代 男爵

白井博之
白井菊造
田中義清
高橋是清
川崎八右衛門
小林富吉
小島重三郎
安島重三郎
山崎久太郎
諸橋